< 参考資料２ >

発電所アセス省令第21条（環境影響評価の項目の選定） 第１項 （別表）

各発電所とりまとめ

環境要素の区分＼影響要因の区分				工事の実施														
				工事用資材等の搬出入					造成等の施工による一時的な影響					建設機械の稼働				
				水力	火力	地熱	太陽光	風力	水力	火力	地熱	太陽光	風力	水力	火力	地熱	太陽光	風力
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として、調査、予測及び評価されるべき環境要素	大気環境	大気質	硫化水素															
			硫黄酸化物															
			窒素酸化物	○	○	○									○			
			浮遊粒子状物質															
			石炭粉じん															
			粉じん等	○	○	○	○							○	○		○	
		騒音	騒音	○	○		○	○						○	○		○	○
		振動	振動	○	○		○	○						○	○		○	
	水環境	水質	水の汚れ															
			富栄養化															
			水の濁り						○	○	○	○	○		○			○
			溶存酸素量															
			水素イオン濃度						○									
			水温															
		底質	有害物質												○			○
		その他	流向及び流速															
			温泉															
	その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質															
		地盤	地盤変動															
			土地の安定性															
		その他	反射光															
			風車の影															
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	動物		重要な種及び注目すべき生息地（海域に生息するものを除く）						○	○	○	○	○					
			海域に生息する動物										○					
	植物		重要な種及び重要な群落（海域に生育するものを除く）						○	○	○	○	○					
			海域に生育する植物										○					
	生態系		地域を特徴づける生態系						○	○	○	○	○					
人と自然との触れ合いの確保を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	景観		主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観															
	人と自然との触れ合いの活動の場		主要な人と自然との触れ合いの活動の場	○	○	○	○	○										
環境への負荷の量の程度により予測及び評価されるべき環境要素	廃棄物等		産業廃棄物						○	○	○	○	○					
			残土							○	○	○	○					
	温室効果ガス等		二酸化炭素															

環境要素の区分＼影響要因の区分				土地又は工作物の存在及び供用																								
				地形改変及び施設の存在					貯水池の存在					河水の取水					施設の稼働									
																								地熱流体の採取及び熱水の還元				
				水力	火力	地熱	太陽光	風力	水力	火力	地熱	太陽光	風力	水力	火力	地熱	太陽光	風力	水力	火力	地熱	太陽光	風力	水力	火力	地熱	太陽光	風力
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として、調査、予測及び評価されるべき環境要素	大気環境	大気質	硫化水素																									
			硫黄酸化物																									
			窒素酸化物																									
			浮遊粒子状物質																									
			石炭粉じん		○																							
			粉じん等																									
		騒音	騒音																			○	○					
		振動	振動																									
	水環境	水質	水の汚れ						○					○														
			富栄養化						○																			
			水の濁り				○		○																			
			溶存酸素量						○																			
			水素イオン濃度																									
			水温						○																			
		底質	有害物質																									
		その他	流向及び流速		○																							
			温泉																							○		
	その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質	○	○	○	○	○	○																			
		地盤	地盤変動																							○		
			土地の安定性				○																					
		その他	反射光				○																					
			風車の影																				○					
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	動物		重要な種及び注目すべき生息地（海域に生息するものを除く）	○	○	○	○	○																				
			海域に生息する動物		○			○																				
	植物		重要な種及び重要な群落（海域に生育するものを除く）	○	○	○	○	○																				
			海域に生育する植物		○			○																				
	生態系		地域を特徴づける生態系	○	○	○	○	○																				
人と自然との触れ合いの確保を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	景観		主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観	○	○	○	○	○	○																			
	人と自然との触れ合いの活動の場		主要な人と自然との触れ合いの活動の場	○	○	○	○	○	○					○														
環境への負荷の量の程度により予測及び評価されるべき環境要素	廃棄物等		産業廃棄物				○																					
			残土																									
	温室効果ガス等		二酸化炭素																									

環境要素の区分＼影響要因の区分				土地又は工作物の存在及び供用																													
				施設の稼働																													
				排ガス					排水					温排水					機械の稼働					資材等の搬出入					廃棄物の発生				
				水力	火力	地熱	太陽光	風力	水力	火力	地熱	太陽光	風力	水力	火力	地熱	太陽光	風力	水力	火力	地熱	太陽光	風力	水力	火力	地熱	太陽光	風力	水力	火力	地熱	太陽光	風力
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として、調査、予測及び評価されるべき環境要素	大気環境	大気質	硫化水素			○																											
			硫黄酸化物		○																												
			窒素酸化物		○																				○								
			浮遊粒子状物質		○																												
			石炭粉じん																	○													
			粉じん等																						○								
		騒音	騒音																	○					○								
		振動	振動																	○					○								
	水環境	水質	水の汚れ							○	○																						
			富栄養化							○																							
			水の濁り																														
			溶存酸素量																														
			水素イオン濃度																														
			水温												○																		
		底質	有害物質																														
		その他	流向及び流速												○																		
			温泉																														
	その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質																														
		地盤	地盤変動																														
			土地の安定性																														
		その他	反射光																														
			風車の影																														
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	動物		重要な種及び注目すべき生息地（海域に生息するものを除く）																														
			海域に生息する動物												○																		
	植物		重要な種及び重要な群落（海域に生育するものを除く）																														
			海域に生育する植物												○																		
	生態系		地域を特徴づける生態系																														
人と自然との触れ合いの確保を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	景観		主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観																														
	人と自然との触れ合いの活動の場		主要な人と自然との触れ合いの活動の場																														
環境への負荷の量の程度により予測及び評価されるべき環境要素	廃棄物等		産業廃棄物																												○	○		
			残土																														
	温室効果ガス等		二酸化炭素		○																												

※ 事業特性や地域特性を踏まえ、一般的な事業において環境影響評価の項目に選定されるべきものとして示されている（参考項目）

事業者は事業特性や地域特性を踏まえ、調査・予測・評価の対象とするか否かを検討すると共に、必要に応じて、参考項目として示された項目以外の項目についても環境アセスメントの対象とすることができる